

## 東京都高等学校特別活動研究会

### 研究テーマ 「『新しい生活様式』を踏まえて考える、新たな特別活動のあり方」

#### I 団体の概要および研究テーマ

##### A. 団体の概要

特別活動の特質である「望ましい集団活動」の在り方を問い直し、生徒が困難や苦難を乗り越え、仲間とともに生きる目標と、生きる喜びをもつ「強い心」を育むため、特別活動の在り方を研究する。月例会や研究協議会を通して、都立高等学校教師の特別指導における指導力向上を目指し、ホームルーム経営力、生徒理解力の向上を図ることを内容とする。

##### B. 研究テーマ

#### 「『新しい生活様式』を踏まえて考える、新たな特別活動のあり方」

本研究会においては、高等学校学習指導要領の特別活動について研究を重ねてきた。特別活動で育成を目指す資質・能力である「人間関係形成」「社会参画」「自己実現」という三つの視点を手がかりとして、これらを有機的に関連づけ、明確に区別することなく育成する資質・能力に関わるものとして捉えることが重要だとされている。各都立学校においては、新型コロナウイルス感染症の対策を講じた上で、ホームルーム活動、生徒会活動、学校行事等が続けることができるようになってきた。さらに工夫を重ねて授業や特別活動に取り組む工夫を重ねていきたいと考え、令和3年度と同様にテーマを設定した。

#### II 研究テーマに沿って重点的に取り組んだ内容

学習指導要領に定められた特別活動のホームルーム活動・生徒会活動・学校行事の3領域を中心に、都立高等学校の実践的な取組をもとに、事例研究を行う。生徒との関わり方や指導方法について、基調提案・実践報告・講演等を通して、教師同士が学び合う場を設ける。

昨年度（令和3年度）は、新型コロナウイルス感染症拡大の影響により、オンライン形式の開催しかできなかったため、今年度は対面形式の開催方法に戻して実施した。参加者による情報共有や、日頃の指導に活かせる方法について研究協議を重点的に取り組んだ。特に、多くの初任者に参加いただき、「担任になったらどのように対応するか」「行事の担当者として各ホームルームとどのように関わるか」等の意見交換を行った。



### Ⅲ 取組の内容、成果、課題

#### A. 取組の内容

- ①第1回研究協議会（7月8日 東京都立千歳丘高等学校）  
 基調提案 「ホームルーム担任の仕事 1日1年」  
 実践報告 「初めての担任  
 ～「あたりまえ」のことを「あたりまえ」に～」
- ②第2回研究協議会（10月18日 東京都立千歳丘高等学校）  
 実践報告 「初めての教員生活＝初めての学級担任」  
 実践報告 「園芸高校における学年経営の試み」
- ③東京都教職員研修センターとの連携研修（11月22日）  
 （令和4年度専門性向上研修「5411・5412\_特別活動【I】」）  
 テーマ 「特別活動の基礎・基本—実践発表から学ぶ、  
 三つの視点を踏まえた資質・能力の育み方—」  
 内容 「特別活動の学習過程の実際」

#### B. 成果

第1回は20名、第2回は26名の教員等の参加があり、特別活動の実践をもとに、他校の事例や工夫を学ぶことができた。また発表後は、参加者同士の有意義な研究協議となった。

#### C. 課題

新学習指導要領を基にした実践や研究がまだ不十分である。また、オンライン形式の開催慣れのせいか、対面開催であると参加者が少ない。今後、さらなる参加者の募集の工夫が必要である。

### Ⅳ 今後の活動予定

- 第3回研究協議会（1月24日 東京都立千歳丘高等学校）  
 第35回東京都高等学校特別活動研究協議大会  
 研究報告 「生徒が互いのよさや可能性を発揮して  
 よりよい人間関係を築く集団活動を行うための  
 指導と評価の充実について」  
 実践報告 「ホームルーム担任としての文化祭における指導」
- 3月研究協議会（3月上旬予定、東京都立千歳丘高等学校）  
 次年度にホームルーム担任となる教員向けの研究会を開催する予定である。



#### <連絡先>

団体名		東京都高等学校特別活動研究会
代表者	所属	東京都立千歳丘高等学校
	職 氏名	校長 小原 孝太郎
	連絡先	03-3429-7271
事務局	所属	東京都立武蔵高等学校
	職 氏名	主幹教諭 峯岸 久枝
	連絡先	0422-51-4554